

令和8年
第2回
定例会



ひらない 議会だより

第228号

令和8年7月29日発行
青森県平内町議会



「青の煌めき

あおり国スポ・障スポ」の
成功を願って！

🕒 ココミテ！

700万円以上の財産の取得	5
6人の議員が一般質問	6～12
追跡！あの質問はどうなった？.....	14
町内に本格的な英検専門塾開講！...	15
平内レクダンスクラブを紹介.....	16

【今回の表紙】

定例会初日の6月8日、「青の煌めきあおり国スポ・障スポ」の開催機運を高めようと、全議員と賛同した職員が国スポの平内町オリジナルポロシャツを着用して出席しました。

令和8年 第2回定例会開催 6月8日～12日

令和8年第2回定例会が6月8日から12日までの5日間の会期で開催されました。

専決処分した事項の報告、令和8年度一般会計補正予算案、条例改正案など11件が町長から提出され、審議の結果、いずれも原案どおり「承認」「可決」しました。

(万単位で端数処理しています)

令和7年度 一般会計補正予算 (3月31日専決)

35万円増額 総額87億2,539万円

内容

歳入において、特別交付税交付額の確定及び物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の実績に伴い増額。歳出については防災行政用無線設備更新事業の監理業務委託料、青森県特別保証融資制度保証料補給金及び教育総務関係給与費の実績額の確定により増額。その結果、歳入超過となり、財源調整が必要となりました。

※専決処分とは、緊急で議会を招集できない場合に町長が単独で決定する制度です。

繰越明許費

令和7年度に議決した予算のうち、完了できなかった11事業を令和8年度に繰り越して実施します。

◆防災業務費	447万円	洪水ハザードマップ作成業務委託について、県が作成した洪水浸水区域想定公表が令和8年3月27日となり、作成期間を設けられなかったため。
◆平内町防災倉庫整備事業	4億300万円	新庁舎の設計と一体的に進めたことにより設計の完成に遅延が生じたため。
◆庁舎移転事業	251万円	新庁舎設計業務にあわせて什器及び備品計画策定作業が遅れたため。

○他8件は、豪雪による工事の遅延、国の補正予算による計画再検討など。

令和7年度 介護保険特別会計補正予算 (3月31日専決)

275万円増額 総額15億6,826万円

内容

地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金について、令和8年3月9日付で内示があり、早急に予算措置を講ずる必要が生じたため。

令和8年度 一般会計補正予算

3,523万円減額 総額80億9,677万円

主な内容

雪害を受けた畜舎を復旧支援

●119万円 増額

令和8年1月の豪雪被害により、被災した農業用施設及び畜舎修繕の費用を補助します。

ホタテ加工業者に支援

●300万円 増額

エネルギー価格の高騰及びホタテガイ大量へい死の被害を受けた加工業者を支援するため、金融機関からの借り入れに対し、利子補給を行います。

開催迫る!! 国民スポーツ大会

●1,122万円 増額

物価高騰や中東情勢等により各経費を増額する他、監督、選手などの宿泊先が遠方になったことから、バスの増車が必要になりました。

部活動の地域移行を加速化

●498万円 増額

令和8年度、国の実証事業を利用して、地域おこし協力隊を活用した部活動の地域展開に取り組めます。

○上記の他、補助金・交付金の確定、財源の組み換え、小型動力ポンプの修繕費などを補正しました。

令和8年度 国民健康保険特別会計補正予算

8万円増額 総額17億4,020万円

内容

マイナ保険証など、子ども・子育て支援金制度に係る周知広報の印刷費です。



条例一部改正

◎平内町国民健康保険税条例

急速に進む少子化に対応するため、医療保険料に上乗せして支援金を拠出する「子ども・子育て支援金制度」が令和8年4月から開始されることに伴い、当該支援金分の税率を設定するなど改正しました。あわせて、税制改正に伴い、基礎課税額の限度額及び軽減判定所得の基準額を見直しました。

①

新たに子ども・子育て支援金分を規定

所得割 **0.3%**

均等割 **1,300円**

18歳以上均等割 **100円**

平等割 **900円**

限度額（年間） **3万円**

②

医療給付費分
基礎課税限度額
が上がります

66万円



67万円

1年間に納める保険税の
上限額が引き上げられ
ます。

③

軽減対象世帯の
範囲が広がります



負担が軽くなる世帯が増
えます

①、②のほか後期高齢者医療支援金分・介護納付金分を含め上限額が109万円から113万円に引き上げられます。

◎平内いきいき健康館の設置に関する条例

燃料費や人件費の上昇により、銭湯（公衆浴場）の経営が厳しくなっていることを受け、青森県が入浴料金の「統制額」を見直したため、町の条例も、県の見直しにあわせて改正しました。

施行日 令和8年7月1日

項 目	改正前	改正後
大 人	480円	530円
中 人	170円	200円
小 人	80円	100円



◎平内町町税条例（令和8年3月31日専決）

軽自動車税環境性能割の廃止に伴う関係規定の整理及び軽自動車税種別割の名称変更。公的年金等受給者に係る扶養親族等申告書の提出義務範囲の見直し。固定資産税に係る免税点の引き上げを行いました。

・軽自動車税環境性能割の廃止に伴う関係規定の整理及び軽自動車税種別割の名称変更

施行日 令和8年4月1日

・公的年金等受給者に係る扶養親族等申告書提出義務範囲の見直し

施行日 令和9年1月1日

・固定資産税に係る免税点の引き上げ

施行日 令和9年4月1日

工事の請負契約

- ◆工事名称 平内町立小中学校校舎照明改修工事
- ◆工事場所 平内町大字小湊字後范 外 地内
- ◆請負代金 50,737,500円

- ◆契約の方法 指名競争入札
- ◆契約の相手方 八戸市城下4丁目10番10号
興陽電設株式会社

財産の取得

ホイールローダ

- ◆取得財産 ホイールローダ
- ◆取得方法 指名競争入札
- ◆取得価格 10,043,000円
- ◆契約の相手方 青森市大字野木字野尻37-31
日本キャタピラー合同会社
青森営業所



出典：日本キャタピラー合同会社HP

除雪トラック（7t級）

- ◆取得財産 除雪トラック（7t級）
- ◆取得方法 指名競争入札
- ◆取得価格 40,150,000円
- ◆契約の相手方 青森市大字石江字三好116番
UDトラックス株式会社
青森カスタマーセンター



同型モデル

※700万円以上の財産の取得には議会の議決が必要です。

和解及び損害賠償

- ◆和解の相手方 平内町大字口広字川向口広沢11番4
社会福祉法人 栄進福祉会
- ◆損害賠償の額 1,033,791円
- ◆概要 町道を走行中、道路の損壊箇所の舗装が浮き上がり車両が損傷。事故当時の道路状況などから回避が難しい状況でした。けが等の人的被害はありませんでした。

人 事

青森地域広域事務組合議会議員の選挙 平内町議会活性化委員の選任

青森地域広域事務組合議会議員及び平内町議会活性化委員に欠員が生じていたことから、選挙・選任を行い、共に田中茂勝議員が選出されました。

◆ 採 決 結 果 ◆

議案番号	提出議案
報告第5号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて〔令和7年度平内町一般会計補正予算〕
報告第6号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて〔令和7年度平内町介護保険特別会計補正予算〕
報告第7号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて〔平内町町税条例の一部を改正する条例〕
議案第34号	令和8年度平内町一般会計補正予算案
議案第35号	令和8年度平内町国民健康保険特別会計補正予算案

議案番号	提出議案
議案第36号	平内町国民健康保険税条例の一部を改正する条例案
議案第37号	平内いきいき健康館の設置等に関する条例の一部を改正する条例案
議案第38号	工事の請負契約について〔平内町立小中学校校舎照明改修工事〕
議案第39号	財産の取得について〔ホイールローダ〕
議案第40号	財産の取得について〔除雪トラック(7t級)〕
議案第41号	和解及び損害賠償の額の決定について

以上11件 全議員賛成
(副議長、欠席議員1人除く)

ーお詫びと訂正ー

令和8年4月28日発行の「ひらない議会だより」第227号13ページの採決結果表中において、掲載内容に誤りがありました。皆さまにご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

【訂正前】第2回定例会 【訂正後】第1回定例会

一般質問 町政を問う

一般質問は執行機関に対して議員が町政全般の執行状況や将来の方針など、諸問題の政治姿勢を明らかにするものです。6月定例会では6人の議員が登壇しました。

田 中 大 議員 …… P 7

- 1 返礼品の見直しについて

荒 内 護 議員 …… P 8

- 1 移住・定住対策として、土地、戸建ての無償譲渡制度の設定について
- 2 街路樹の老木化の管理について
- 3 平内町環状128号線（農免道路）の管理について

田 中 茂 勝 議員 …… P 9

- 1 平内中央病院のリハビリ機能強化を活かした地域活性化について
- 2 滞在型まちづくりと宿泊環境整備について

田 中 光 弘 議員 …… P 10

- 1 風力発電事業について
- 2 クマ対策について
- 3 平内町立山村開発センターについて

太 田 満 則 議員 …… P 11

- 1 公用車の使用方について

内 海 伸 議員 …… P 12

- 1 同窓会やクラス会に助成制度を

※質問は通告順です。次ページからの質問と答弁は紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。

ふるさと納税返礼品の見直しを

町長 / 地域の潜在力を引き出していく



たなか だい
田中 大 議員



返礼品のホタテ（出典：セゾンのふるさと納税HP）

田中 ホタテ不漁による返礼品供給への影響をどのように認識しているか。また、寄附額への影響をどう分析しているか。

町長 近年の海洋環境の変化などにより、ホタテの生産量や供給が不安定になっていることは、大きな課題と認識している。一方で、寄附額全体の影響は、一定程度踏みとどまっている。過去3年間の寄附額実績は、令和5年度約6,500万円、令和6年度約6,800万円、令和7年度約5,100万円となっている。また、寄附全体に占めるホタテ関連商品の割合は、令和5年度84.57%、令和6年度76.12%、令和7年度73.5%となっており、依然としてホタテ中心であるものの、返礼品の多様化も進みつつあると分析している。

田中 主力商品の供給が制約される中、新たな返礼品開発の必要性をどのように考えているか。

町長 今後は、ホタテ以外の返礼品強化が必要と考えている。現在、米の返礼品を増やす取り組みを進めており、既存返礼品についても内容や見せ方の改善を図っていく。また、単なる返礼品競争ではなく、地域づくりへの共感による寄附を促すことも重要であり、漁業支援や子育て支援などをテーマとした応援型・クラウドファンディング型ふるさと納税についても研究していく。

田中 町外や海外から原材料を調達し、町内で加工する返礼品開発について、地場産品基準との関係も含め、どのように進める考えか。

町長 地場産品基準への適合が大前提であるが、町外原材料であっても、町内での加工工程や付加価値の創出が明確であれば、制度上認められる余地があると認識している。国の基準を十分に踏まえながら、地域経済への波及効果を最大化できる方法を模索していく。また、制度対応や市場分析には専門的知識も必要であることから、コンサルティングの導入についても検討し、戦略的な取り組みを研究していく。

田中 町内の水産加工業者との連携を強化し、加工品開発を進めるべきと考えるがどうか。

町長 ふるさと納税の成否は行政だけで決まるものではなく、事業者の発想力や商品開発力、挑戦意欲が原動力になるのではないかと。今後は、漁協や加工業者との連携をさらに強化し、町として必要な支援を行う。

田中 宮古市の牛タン返礼品のような成功事例を参考に、当町独自のヒット商品を創出する考えはあるか。

町長 他自治体には、加工やブランド化によって成果を上げている事例がある。しかし、ヒット商品は行政が作らせるものではなく、地域の創意工夫と挑戦の積み重ねによって生まれるものである。町としては、制度設計や情報発信、販売拡大などの環境整備に努め、地域の潜在力を引き出していく。



あらない まもる
荒内 護 議員

土地、戸建て 無償譲渡制度を

町長 / 現時点では考えていない

荒内 当町には、移住・定住対策として空き家等バンク制度や各種住環境支援がある。空き家等バンク制度は関心度も高く一定の効果が期待できる。各種住環境支援は一時的なものであって効果が薄いと思う。全国では土地、戸建て住宅の無償譲渡制度を実施し、効果を得ている自治体もある。土地、戸建て住宅の無償譲渡制度を設けることについて考えを伺う。

町長 制度導入により町民の公平性や定住の実効性、当町の厳しい財政状況での新たな制度創

設に伴う土地や住宅の整備、管理に係る経費の財政負担など、整理すべき課題も少なくない。近年、各自治体が様々な移住支援策を展開しているが過度な支援策の拡充の結果として自治体間の人口の奪い合いにつながっている。これらのことから、現時点では新たな制度創設は考えていない。今後も他自治体の事例や効果を十分研究し、当町の実情や財政状況を踏まえ、持続可能な実効性のある移住・定住について検討していきたい。

街路樹の管理体制は

荒内 全国的に倒木や落枝の被害が急増している。

当町においては勤労青少年ホーム前の桜の木のお老木化が進んでいるように思う。その管理体制を伺う。



青少年ホーム前の桜の木

町長 / 適切な措置を講ずる

町長 令和3年に専門業者の診断を受けている。その時は衰弱している樹木がないことを確認した。その後、住民からの相談もあり、伐採や剪定を行った。町内には多数の樹木があるため全ての状況を把握することが難しい。町内会や行政連絡員、さらには地域住民からの情報提供や要望を受け、危険個所の早期把握、迅速な現地確認を行い適切な維持管理に努めている。今後も街路樹の計画的な点検と維持管理を進め、安心して通行できる道路環境の確保に取り組んでいく。

環状128号線の管理体制は

荒内 平内町環状128号線、松野木から馬門までの通称、農免道路について、町民からは「草が伸び過ぎて道路に倒れかかっている」「草刈ったけどポールの周りに草が残っていてそれが道路に倒れてきて通行の邪魔になっている」との声がある。平内町環状128号線の管理体制を伺う。

町長 作業を業者に委託し、年2回以上除草作業を行っている。

町長 / 作業方法を協議する

ポール周りは今後、受託業者と作業方法を協議し、適切に管理出来るよう努める。

荒内 作業後の確認は出来ているのか。

地域整備課長 毎年、ほかの路線も合わせて3回または4回行うこともあり、状況に応じて対処している。地域整備課では定期的にパトロールを行い確認している。

平病のリハビリ機能で 地域活性化を



たなか しげかつ
田中 茂勝 議員

町長 / リハビリ特化型化は考えていない



患者に寄り添ったリハビリを実施

田中 リハビリに強い病院として県内外へ発信し、患者受入れを強化してはどうか。

町長 平内中央病院では理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を配置し、急性期後の回復支援や在宅復帰支援、訪問リハビリテーションなど地域の実情に応じた医療の提供に努めている。一方で、リハビリ医療は診療報酬制度に基づく実施条件があり、入院患者の受入れも医師や看護師を含めた医療提供体制全体を踏まえる必要がある。現時点でリハビリ特化型病院として県内外から大規模な患者受入れを進める考えはないが、引き続き地域包括ケアを支える病院としてリハビリ機能の維持・充実に努める。

田中 リハビリ専門職の研修拠点化、学生実習の受け入れを進め、医療人材の確保と若者の定住を一体的に進めてはどうか。

町長 平内中央病院では年間約20名の実習生を受け入れており、その一部は採用にもつながっている。また、介護予防事業や健康教室への講師派遣、医療従事者向け研修会での講演などを通じて地域医療への貢献と専門性向上に努めている。

現在のリハビリ専門職21名体制は病院規模や医療需要を踏まえた配置であり、現段階で研修拠点化や大幅な採用枠拡大は考えていない。今後も地域医療を支える人材の育成と確保に努める。

田中 病院経営改善に向けた具体的な数値目標は。

町長 公立病院経営強化プランに基づき各種指標を活用している。令和6年度実績ではリハビリ利用件数が延べ1万7,561件、訪問リハビリ件数が延べ3,156件であった。在宅復帰率は目標90%に対し実績87.4%、病床稼働率は目標80.5%に対し実績75.0%となっている。今後も関係機関との連携を図りながら、効率的かつ安定的な病院運営に努める。

田中 リハビリ施設や機材の充実を図る考えはあるか。

町長 施設や機材の充実は重要であるが、新たな施設改修や大型機材導入には多額の費用と維持管理費が必要となる。現時点で具体的な拡張計画はないが、患者構成や利用ニーズ、経営状況を踏まえながら既存施設や機材を有効活用し、必要な機能の確保に努める。

滞在型まちづくりのための整備を

田中 空き家を活用した長期滞在施設や、リハビリ・療養目的の滞在環境整備を進めてはどうか。

町長 空き家バンク制度は移住・定住促進を主な目的としており、宿泊事業への活用を想定した制度ではない。

町長 / 地域資源の活用を検討する

また、平内中央病院の入院患者の多くは町内居住者であることから、現時点で病院周辺に新たな宿泊施設整備を必要とする状況にはない。今後は人口減少や高齢化、地域経済の動向を踏まえながら、民間活力も含めた地域資源の活用の可能性について検討していく。



たなか みつひろ
田中 光弘 議員

風力発電事業の現況は

町長 / 停止状況と推察

東北電力へ確認を

田中 平内ウィンドファーム合同会社による夜越山後方から松野木間の山間部に、1基あたりの発電出力4,000kw、12基の大型風力発電事業計画。工事開始予定が現時点で2年を切ったが、現況は。

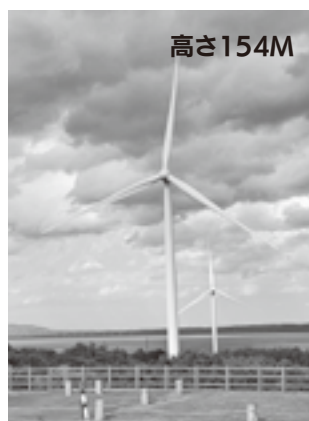
町長 事業者から連絡がない。また、令和7年2月に主要事業者「NC電源開発株式会社」の代表取締役らが破産法違反により逮捕され、当事業は計画段階で停止状況だと推察している。

田中 主要事業者が同期間に当町を含め7自治体で計画を進めたが撤退している。内訳は2自治体で東北電力が事業引継、1自治体中止、当町を含めた4自治体が連絡なしとなっている。東北電力に事業継続、撤退の方針を確認すべきだ。

企画政策課長 確認について今後どのようにするか検討していきたい。

町ホームページに新風力発電事業のコーナーを

田中 平内風力開発株式会社が、松野木、口広、



野辺地柴崎風力



当町への新風力発電事業計画

狩場沢地区の農免道路を挟んで、1基あたりの発電出力4,200kw、9基の大型風力発電事業の説明会を5月に開催した。

町民、事業者間の意見交換の場として、町ホームページに風力発電事業コーナーを設けるべきだ。

企画政策課長 設けることは可能だが、確定・決定した情報のみの発信にしたいと考えている。

クマ行動範囲 把握体制を

田中 全国的にGPS発信機による位置把握、AI監視カメラ、出没情報アプリなど、先進技術を活用した対策を進めている。危険防止に向け、クマの行動範囲を事前に把握する体制を構築すべきだ。

町長 費用対効果を十分検討する必要がある。国や県の補助制度、先進自治体の事例など、段階的に導入の可能性を検討していきたい。

田中 県でICT機器の導入に支援を行っている

町長 / 段階的に機器導入を検討

が、当町の方針はどうか。

農政課長 導入の際は県交付金の活用を検討したい。

東奥日報に当町のクマ出没情報掲載を

田中 東奥日報で、市町村からの発表としてクマ目撃を掲載している。当町分も掲載させるべきだ。

町長 新聞社との連携の可能性も含め、より多様な情報発信のあり方を検討していきたい。

山村開発センター施設 閉鎖か

田中 令和7年12月8日の地震の影響で施設破損が確認され、大集会室の利用と新規受付を終了。大集会室以外は現行どおり利用できるとしている。

破損を改修せずに利用終了とした経緯を。また、新役場庁舎開庁に伴い、開発センター施設の閉鎖が伝わっている。方針はどうか。

町長 多額の改修費用が見込まれることに加

町長 / 閉鎖の方向へ

え、建築年数の経過に伴い、ボイラーや配管などへの波及的な改修工事が必要となる。閉鎖する方向で検討している。

田中 改修額はいくらか。

生涯学習課長 概算で大集会室2,000万円から2,500万円、配管も同額、ボイラー4,000万円の計8~9,000万円ぐらいである。

疑念もたれない 公用車運用を



おおた みつなり
太田 満則 議員

町長 / 適切な運用に努めたい



公用車

太田 町長の公用車の運用方に疑義がある。公用車は公用時に利用するのが前提である。しかし、私用の運用事例が見受けられる。

町長 基本的に「平内町車両等管理規程」に基づいた運用をし、公務以外は原則としてタクシーを利用している。

しかし、公務の移行や日程管理上、タクシーを利用するよりも時間的短縮となる場合に限り、効率的な公務遂行の観点から利用している。そのため、公務前後に火葬や通夜に参列する場合は、限られた時間の中で効率的に職務を遂行する観点から公用車を利用することがある。

太田 公務で利用することには異存がなく、誰もおかしいとは言わないと思う。しかし、私用で利用しているのではないかと声があるので、疑念が持たれる行動は控えるべきだ。

町長 公私の区別を十二分に踏まえ、公用車の適切な運用に努めたい。

交際費支出基準の対象者外の声として

太田 町の交際費支出基準に該当する方が亡くなった際は、町が弔意を表し、香典を包んで公用車を利用することには誰もが納得すると思う。

町民からの指摘として、支出基準外の方が亡くなった際に、公用車で斎場に来て香典を手渡しされた。その方は町から香典を受け取るような立場ではないと話されていた。この点については。

町長 町民は町政運営の大切な担い手であり、町にとってかけがえのない存在である。

町を代表し、弔意を表すことは、町長としての務めの一つであると考えている。ご労苦とご功績に感謝と敬意を表し、ご遺族にお悔やみの意を伝えるために通夜や葬儀等に参列している。

青の煌めきあおもり国スポ

2026

翔ける未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会



平内町開催競技

公開競技 綱引

正式競技 ゴルフ(成年男子)

令和8年8月22日・23日(会場:平内町立体育館)

令和8年9月 9日~11日(会場:夏泊ゴルフリンクス)



うつみ しん
内海 伸 議員

同窓会・クラス会に 助成制度化を

町長 / 現時点では考えていない

内海 同窓会やクラス会は、進学や就職で町を離れた方々がふるさとに戻るきっかけとなる。久しぶりに地元を訪れ、同級生と再会する中で、町の変化や地域の取組に触れ、ふるさとへの愛着を再認識する機会となる。同級生同士のつながりは、年齢を重ねても続く地域の大切な財産である。

行政が新たな交流の場を一から創出することは容易ではない。同級生同士のつながりを行政が後押しすることで、比較的少ない負担で人の流れを生み出し、地域とのつながりを広げることが可能となる。さらに、同窓会やクラス会の開催は、町内の飲食店や宿泊施設、商店などの利用につながり、地域経済への波及効果も期待できる。

そのため、関係人口の創出や地域経済の活性化につながる取組として、町が助成制度を検討する価値は十分にあると考えるが、町長の見解を伺う。

町長 一部自治体ではUターン促進や間接的な結婚支援、少子高齢化支援、地域コミュニティの維持を目的として同窓会やクラス会への助成制度を実施している。同窓会やクラス会を通じてふるさとのつながりを深め、地域への関心や愛着を育み、さらには地域経済の活性化につながるという発想は、ユニークで興味深い視点である。



久しぶりに同級生と再会

一方で、行政として公費を支出する以上、事業の実施には公益性や公平性を十分に考慮する必要がある。特定の団体や参加者への支援となることから、町民全体の公平性をどのように担保するかが課題である。

現在、新庁舎建設に関連する諸経費のほか、子育て支援等の福祉施策、防災施策、地域交通政策、公共施設の老朽化に伴う修繕など、優先的に取り組むべき課題が山積している。

財政状況が厳しい中で、限られた財源をどのように配分していくか慎重に判断しなければならない。

現時点で同窓会やクラス会への助成制度の創設は考えていないが、移住・定住や地域活性化に資する取り組みの中で、民間団体による交流活動や地域イベントなど、町として支援可能な事業へ支援していきたい。



同窓会のきっかけになる成人式

研 修 報 告

読んでもらえる紙面 さらに追求へ

5月20日、「青森県町村議会広報研修会」が開催されました。県内30町村の議会広報編集担当者が一堂に会し、講師の芳野政明氏が「紙面の工夫のアドバイス」をしました。

「議会広報」は議会の動きを伝えるためのものです。当議会では年4回発行しています。

「予算案」「条例」等の内容を分かりやすく伝え、町民の皆さんの手に取ってもらえる、待ち遠しい、そんな紙面になるよう思いを新たにした研修会でした。



講師：議会広報サポーター 芳野 政明氏

7年ぶりの地元開催 見事に優勝！

7月3日、東津軽郡町村議長会主催の「健康管理セミナー」が開催されました。この催しは4町村（平内町、蓬田村、外ヶ浜町、今別町）の会場持ち回りで行われるもので、コロナ禍を経て、実に7年ぶりに平内町での開催となりました。

夜越山スキー場ヒュッテで当町の保健師による健康チェックと開会式を行った後、参加者一同はパークゴルフ場へ移動し、競技に入りました。

4町村議員が交流を深める年に一度の機会でもあります。久しぶりの再会に会話を弾ませつつも、熱戦が繰り広げられ、平内町議会が見事優勝旗を手に入れました。



ナイスショットの連発

激動の世界情勢を読み解く

7月8日、議員の資質向上を目的に「県下町村議会議員研修会」が開催され、県内各町村議会から多くの議員が参加しました。

講師にはニュースキャスターやコメンテーターとして活躍されている星浩氏を迎え、世界情勢の解説から始まり、日本国内の政局や今後の政治展望について講演していただきました。

終盤ではSNSの普及に伴う情報リテラシーの重要性にも触れられ、参加した議員一同、学びを深める貴重な機会となりました。



議員に熱く語りかける星浩氏

追跡 No.19 あの質問はどうなった？

令和7年8月5日に開催された「子ども議会」より

ネット環境の改善を

山口小学校5年生

質問 授業でタブレット型パソコンを使用しているが、回線が混み、困ることがある。小中学校のインターネット環境の改善をお願いしたい。

答弁 調査した結果、外部回線の速度が遅いのが原因だった。今後、改善を図っていききたい。

現在は

改善に着手

小湊小学校は令和7年5月、平内中学校は令和8年3月に改善した。

山口小学校、東小学校は令和8年の夏休みに改善する予定。

定例会より

補聴器購入費助成の増額を

令和7年3月定例会

令和7年度当初予算で新規事業として一律3万円計上。

質問 両耳用が必要な方もいる。助成金の上限額増額を検討すべき。

答弁 より良い制度に改めていきたい。

現在は

令和8年度から 片耳上限額 5万円
両耳上限額10万円



ナラ枯れ予防策を

令和7年9月定例会

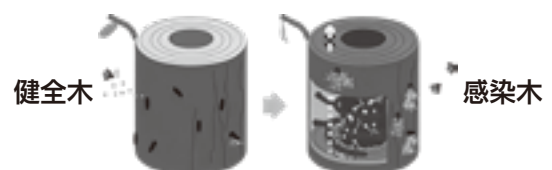
質問 令和5年度に当町でも被害が確認された。監視体制と県との連携、体制の整備方と今後の展望は。

答弁 県のナラ林選定基準に基づいて保護対策等を進めていく。

現在は

令和8年度当初予算に
337万円委託料計上

夜越山町有地を対象に防除



(出典：国土交通省近畿地方整備局HP)

電気柵の導入を

令和7年12月定例会

質問 令和7年、個人で電気柵を設置したら効果があったと伺っている。電気柵の導入について町の考えは。

答弁 令和8年度より農業者を対象に助成を検討している。

現在は

令和8年度当初予算に
100万円補助金計上





町内に本格的な英検専門塾開講！

なり た ひろあき
成田 博昭 さん
寺町在住



○自己紹介をお願いします

青森県木造町に生まれ、松風塾高等学校の第一期生として学びました。英語教師に憧れ、米国大学院で英語教育学を学んだあと、26歳で母校に戻り、英語教師、校長として教育に携わりました。現在は同校にて英語非常勤講師を務めながら今年英検専門塾「成田英検アカデミー」を開講しました。

○起業のきっかけを教えてください

地域の子どもたちに英語学習の機会を提供しようと、英検専門塾を開講しました。

これまでの経験を生かし、本格的に英検に挑戦できる学びの場づくりに取り組んでいます。英検は一度合格すれば生涯にわたって残る資格であり、進学や将来の選択肢を広げる力になると考えています。また、級ごとに目標を設定しながら段階的にレベルアップできる点も大きな魅力です。

○現在の状況はどうですか

現在は少人数制で、一人ひとりの目標や課題に合わせた指導を行っています。英検合格には正しい学習方法とコツがあると考え、長年の英語指導や英検指導の経験を生かしながら、単語や文法、長文読解、リスニング、ライティング、面接対策まで幅広く対応。生徒が効率よく目標を達成できるよう、計画的な指導を心掛けています。

○これからの抱負を教えてください

目標は、中学生で英検準2級、意欲のある生徒はさらに上の級へ、高校生では2級・準1級を目指せる力を育てることです。英検合格はゴールではなく、「使える英語力」を身につけ、自信を持って次のステージへ進んでほしいと願っています。平内町の子どもたちの可能性を広げるため、地域に根ざした英語教育に力を尽くしてまいります。

—お詫びと訂正—

令和8年4月28日発行の「ひらない議会だより」第227号24ページにおいて、掲載内容に誤りがありました。皆さまにご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

【訂正前】山田遙さん 【訂正後】山田悠さん

令和8年度 議長交際費

4月	0円
5月	平内町商工会通常総代会終了後の懇親会、平内町漁業協同組合との意見交換会開催時お茶代、東津軽郡町村議会議長会定期総会後の情報交換会、平内地区防犯協会定時総会後の懇親会、東津軽郡町村議会議長会議長・副議長研修会後の情報交換会（2名分）
6月	35,800円

令和8年6月までの累計額は
35,800円です。
詳細についてはHPをご覧ください。



議会の傍聴

日程は変更されることもありますので、議会事務局（755）2119へお問い合わせ下さい

令和8年 第3回定例会の予定

あなたに 町の未来が 見えてきます	9/14（月）	開会・本会議・議案上程
	9/15（火）	本会議・一般質問
	9/16（水）	本会議・一般質問
	9/17（木）	決算特別委員会
	9/18（金）	決算特別委員会
	9/19（土）～ 9/23（水）	休会
	9/24（木）	各常任委員会
	9/25（金）	本会議・採決・閉会

おらほの
サークル紹介シリーズ
—第34回—



平内レクダンスクラブ

代表者：佐々木 洋子（ささき ようこ）
TEL017-755-5705

設立はいつですか？

1999年に発足し、今年で27年目になります。元々は生涯学習の一環として、講師を招いて踊ったことが始まりでした。当時は9名でスタートし、一番多いときは60名程会員がいました。現在は25名程の会員で活動しております。

現在の活動状況はどうですか？

毎週金曜日13：00～15：00に勤労青少年ホームで活動しています。春と秋には青森県レクリエーションダンス連絡会主催の交流会に参加しており、会員みんなで楽しく活動が続いております。ほかにも介護施設へ出向いてボランティア活動も行っております。

今後の抱負を教えてください。

近年は少しずつ会員数が減少しています。「みんなで和気あいあいと親睦を深めることができるこのクラブを絶やしたくない」そんな思いが強いです。

議会や議員への一言をお願いします。

町民が活動している場所にも顔を出して、町民の声を広く集めてくれるといいなと思います。開発センターが利用できなくなったこともあり、活動する場所が少なくなってしまう不安もあります。

最後に一言をお願いします。

レクダンスには難しい踊りはなく、誰でも踊れるダンスです。まずは見学や体験にきていただき、1人でも多くの方に参加していただけたらとても嬉しいです。男性の方も大歓迎です！

編集後記

5月20日の議会広報研修会では、「伝える」ではなく「伝わる」広報の重要性について学びました。

議会広報は、議会と町民をつなぐ大切な架け橋です。限られた紙面の中で、町民の皆さまに分かりやすく、

正確に議会活動をお伝えできるよう、編集委員一同工夫を重ねています。

今回の研修で得た学びを生かし、これからも手に取りやすく、読んでいただける議会広報を目指してまいります。
内海 伸

議会広報編集特別委員会

委員長	太田 満則
副委員長	田中 光弘
委員	船橋 侑雅
委員	荒内 護
委員	内海 伸
委員	田中 茂勝



発行／青森県平内町議会
編集／議会広報編集特別委員会

〒039-3393 青森県東津軽郡平内町大字小湊字小湊63
TEL：017-755-2119
ホームページ：https://www.town.hiranai.aomori.jp/